

海藻おしば協会主催・東京水産振興会共催 海の森からの贈り物 楽しい海藻おしば体験教室 報告

【概要】

2024年8月に海藻おしば協会が認定講師を中心として新体制でスタートし、初めての主催行事である海藻おしば教室は、団体会員である東京水産振興会（豊海センタービル）の施設で実施することが出来た。

実施にあたっては、地域の子ども達（未就学児含め）に海藻おしば体験が出来るようにしたいという東京水産振興会のご意向と、普段は小学校の授業対応が多いが、幼児期こそその自然体験は五感の感覚刺激に良い影響をもたらすため積極的にかかわりたい考え、素晴らしい機会になると信じ「楽しく海の森を考える時間」を楽しんでいただけるよう準備。東京支部の認定講師を中心にボランティアスタッフ7人で対応した

【当日までの流れ】

2025年12月 協会事務局高山：チラシ作成・申し込みフォーム作成
振興部松田：招待幼稚園への声掛けチラシ配布

2026年3月 申し込みフォームオープン。午前中は招待園児の為一般募集は無し。
一般申し込みは13:30～が人気があり15名程度申し込みがあり15時からの申し込みに誘導する為、フォーム上申し込みはストップした。

【海藻おしば協会スタッフ】

矢作裕子認定講師・蓑島恵利認定講師・永島美保認定講師・矢部晶実技指導員・塚越円会員
高橋佑征会員・高山優美認定講師・事務局。

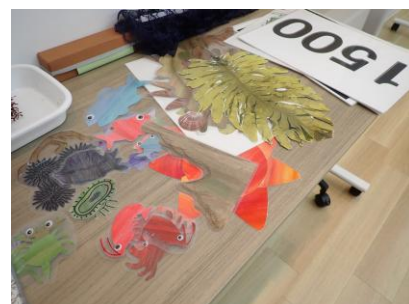
【当日のスケジュール】

9時 会場準備・スケジュール役割共有
10時～11時 ちひろ幼稚園児14人+α 18人講座開始（講師：矢作裕子）
※20分 海の森の話・30分海藻おしばづくり・10分振り返り
12時～13時 休憩（コンビニで弁当を購入し会場でランチ）
13時30分～ 一般申し込み（講師：永島美保）
※25分 海のお話 30分海藻おしば作り・5分振り返り
15時～ 一般申し込み+α（講師：永島美保） 午後参加者合計 24人+α

【当日の様子】



会場設営は、余裕を持った時間に集合し、作業分担で設営。アンケートは年齢層に合わせ記入式でなくシールを貼る形にした



東京水産振興会木村様より招待園児への開始の挨拶のあと、東京支部長矢作裕子講師による講座をスタート。日頃園児と関わっている矢作講師は、手作りのオリジナル教材で海の森を伝えた

海の森からの贈り物
楽しい海藻おしば体験教室

浜辺に打ちあがった海藻を使って海藻おしば作りチャレンジ！

日時：2026年3月26日（木）
午前：10時～11時
午後：13時30分～14時30分
215時～16時

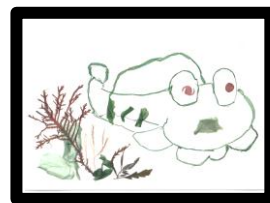
場所：豊海センタービル2階アセンブリ
都営地下鉄大江戸線ときき駅A3出口より徒歩10分

対象：5歳以上～おとな（低学年は保護者同伴をお願いします）
申し込みのみ

定員：当日各回 15名程度
費用：500円（材料費）
※作品は当日持ち帰れません。後日郵送になります。
申し込み事前申し込み（当日若干名あり）
申し込みフォーム：https://forms.gle/NNeSEChenGpbnY7
申し込みのみ

お問い合わせ：海藻おしば協会 <https://kaisou048.jp>
メール：kaisou048kyukai@gmail.com

主催：海藻おしば協会 共催：東京水産振興会





ホワイトボードは海の森！



作り方指導をする蓑島講師



作り方指導をする永島講師



塚越会員は、実技認定を受けるためスキルアップに！



作り方指導をする矢部実技指導員



作品づくりはみんな楽しそう
真剣・夢中・笑顔の時間



カラフルな作品が続々完成



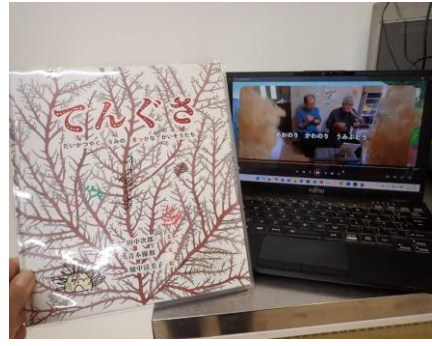
午後は、受付時に住所を記入などの作業。スタッフが対応



午後の講師は、神奈川支部永島美保講師が担当



作品回担当は、慎重に作品を回収。



田中次郎副会長が作詞作曲の海藻のうたも学びの一環



終わった子たちは自由に海の森に生き物を書いてた

【今回意識した点など】

普段は、学校授業や小学生以上からの依頼が多い。未就学児にも自然体験を！と考え共催者と共に対象年齢を共有し実施した。未就学児が楽しめるように！を意識し、映像教材は使用せずにホワイトボードを活用したスタイルで実施した。矢作講師手作りの教材は参加者に好評で。午後の講座では、永島講師が活用し参加者が楽しく学べるように実施できた。

作品づくりの時間は、なんとなく流れる「海藻のうた」が心地よく、頭に残るが「コンブ・ワカメ・ヒジキ・・・茶色の海藻の仲間だよ～」と学びのある歌詞のため海藻おしば教室に今後も活用したい。

【作品完成】

作品は、招待園児、東京水産振興会スタッフ分の仕上げは、矢作講師が担当し準備頂いたレターパックで東京水産振興会松田様に郵送。松田様が招待児童の施設に配達することで園の職員が児童全員分の作品を見る事が出来る。一般参加者は、永島講師が担当しそれぞれ東京水産振興会から提供いただいた切手を貼り直接ポストに投函郵送した。

参加者作品例



【事務局 高山振り返り】

東京水産振興会は、以前野田三千代名誉会長が継続して実施してきたという記憶があるが新型コロナの影響などもありしばらく開催していなかった。

海藻おしば協会が新体制になり、多くの子どもたちに海の森の大切さの普及啓発をしたいため、場所を借りれないか？海藻おしば教室を実施したいという相談に快く協力頂いた東京水産振興会に感謝します。講座を実施するにあたり、会場設営はしやすく、広く、水場が近くとてもやりやすい環境であり、講座中にもスタッフ同士「またここでやれたらいい！使いやすい」と話しながら次の事を考えるほど講座がやりやすい施設環境であった。

活動を継続する上では実施にあたって参加費の設定が低すぎたが、今回は何事も経験、初めての場所、初めての取り組みで子どもたちに参加してもらいやすいように参加費500円で実施した。厳密に言えば主催行事としては赤字のイベントではあった。しかし、自分たちの経験と参加者の笑顔、共催者である東京水産振興会渥美会長にも「素晴らしい内容だね！子どもたちの顔つきが違う」というお言葉を頂けた。そして私たちにとって多くの学びと経験値を得る事が出来た。

本来は有料の施設の場所をご提供いただき、切手やハガキの購入などのご支援を受け、近隣の園児の集客など東京水産振興会振興部にご協力いただき感謝しかありません。

報告：高山 優美